

2018.1.7 (日)
参加費 無料!

富士山世界遺産センター 特別講演会

世界遺産 富士山頂で地球大気環境を調べる

富士山は2013年7月にユネスコの世界文化遺産に登録されました。富士山は独立峰であり、山頂は清浄な自由対流圏高度に位置しており、剣が峰(3776 m)には旧富士山測候所があります。海拔3000 mを越え、地球大気環境を調べることができる高所大気化学観測ステーションは世界的にも限られています。

本講演では、旧富士山測候所の現状を述べ、大気化学観測拠点としての旧富士山測候所の利点、自由対流圏大気化学観測の最先端について3名の研究者からわかりやすく解説します。

講演 13:00 - 13:30



富士山測候所の現状と 認定 NPO 法人「富士山測候所を活用する会」の活動

畠山史郎 (認定 NPO 法人富士山測候所を活用する会・理事長, 埼玉県環境科学国際センター総長)

富士山頂 剣が峰には富士山測候所(現在、富士山特別地域気象観測所)があります。かつては台風の砦として不可欠でしたが、2004年から無人化されました。富士山測候所は日本が世界に誇るべき財産です。「富士山測候所を活用する会」は、この施設を国から借り受け研究・教育の拠点にしようという構想で、2005年に大気化学や高所医学などの研究者が主体となって立ち上げた NPO 法人です。富士山測候所の現状と当 NPO の活用内容についてご紹介致します。

講演 13:30 - 14:00



富士山頂の空気は綺麗? ～海を越えて運ばれてくる大気汚染物質～

大河内博 (認定 NPO 法人富士山測候所を活用する会・理事, 早稲田大学創造理工学部教授)

私たちは、富士山測候所を夏季に借用し、地球規模での大気汚染物質の動きを研究しています。これまでに、中国大陸から富士山頂に運ばれてくる空気には、酸性物質、重金属、発がん性を引き起こす有害な有機物など、様々な大気汚染物質が高濃度に含まれていることが分かってきています。その研究の一端をご紹介致します。

現在、富士山測候所での研究を継続的に行うため、クラウドファンディングに挑戦中です。くわしくはこちらをご覧ください→



講演 14:00 - 14:30



富士山頂から富士山麓森林における大気の特徴

和田龍一 (認定 NPO 法人富士山測候所を活用する会・会員, 帝京科学大学生命環境学部 准教授)

富士山には、緑豊かな山麓の森林地域から、気象条件の厳しい山頂、観光客・登山客に利用される山岳道路と、様々な環境が存在しています。富士山頂に位置する富士山特別地域気象観測所、富士スバルライン5合目奥庭自然公園駐車場、富士山麓森林と、富士山の異なる環境での大気汚染物質濃度とその変動要因の特徴について、ご紹介致します。

日時: 2018年1月7日(日) 13時~15時 (12時30分開場)

場所: 山梨県立富士山世界遺産センター 北館2階 研修室
(〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津 6663-1)

お問い合わせ: kshimada@aoni.waseda.jp (担当: 島田)

主催: 認定 NPO 法人富士山測候所を活用する会
共催: 早稲田大学
後援: 公益財団法人粟井英朗環境財団

認定 NPO 法人富士山測候所を活用する会の活動が、山梨日日新聞および Yahoo! ニュースに取り上げられました。ぜひご覧ください→

